

1. 評価結果概要表

作成日 平成22年5月10日

【評価実施概要】

事業所番号	0270500507		
法人名	有限会社博愛会		
事業所名	グループホーム毘沙門		
所在地 (電話番号)	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、 (電話) 0173-37-2423		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成22年3月13日	評価確定日	平成22年5月10日

【情報提供票より】(平成 22年 2月 20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 15年 11月 21日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 2人, 非常勤 7人, 常勤換算	7.8人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	1 階建ての 階 ~ 1 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	5,000 円	その他の経費(月額)	3,000 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	200 円	昼食 290 円
	夕食	290 円	おやつ 0 円
または1日当たり 780 円			

(4) 利用者の概要(2月 20日現在)

利用者人数	7 名	男性	0 名	女性	7 名
要介護1	1 名	要介護2	2 名		
要介護3	3 名	要介護4	0 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 86 歳	最低	82 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	清水クリニック、かねひらクリニック
---------	-------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

津軽鉄道線沿いの毘沙門駅に隣接しており、居室の窓からは駅が見える。近くには畑があり、利用者は職員と共に、農作業を行っている。地域住民とも積極的な関わりがあり、地域で暮らし続けられる環境が整っている。冬季間は屋内でも楽しめるよう、ゲームやカラオケを行ったり、大きなテレビを活用しながら、楽しい時間を提供している。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	「隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献」が前回評価での改善課題となったが、地域住民が相談に来たり、できるだけ交流が図られるよう意識している。また、行事にも参加されており改善されてきている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全職員で自己評価に取り組んでいる。その結果、課題も表面化し、取り組むべき内容が明確となり、自己評価する意義も認識され意識が高まった。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	行政、町会長、家族等の参加があり、現状の課題を提起し活発な会議が開催されている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)
	面会時等の家族来訪時には日常の状態を報告し、意向等を確認している。事業所内には意見箱も設置されており、苦情対策に努めている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	近所の方から農作業時に指導を受けたり、散歩時は挨拶を交わしている。行事等に地域住民も参加されており、孤立しないように配慮している。

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念を見直し、利用者が地域の中で暮らし続けることを支えていけるような理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者からも日々話しがされており、職員間の共有が図られている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	近くに畑があり、近所の方から農作業の指導を受けている。散歩時は気軽に挨拶を交わしたり、事業所の行事に地域住民が参加する等、積極的に地域との交流が図られている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>評価の意義を理解しており、全職員で自己評価に取り組んでいる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>更新結果を報告し、改善課題を話し合っている。運営推進会議のメンバーからの意見を取り入れ、サービスの質の向上に活かしている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>行政からも様々な助言を受けており、連携が図られている。業務内容についてもアドバイスを受けている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>資料・マニュアルは作成されているが、外部研修等に参加する機会が少なく、周知徹底されていない。</p>		<p>資料・マニュアルの作成にとどまらず、外部研修等を受講し、利用者の支援に結びつけていくことに期待したい。</p>
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>資料・マニュアルは作成されているが、外部研修等に参加する機会が少なく、周知徹底されていない。</p>		<p>資料・マニュアルの作成にとどまらず、外部研修等を受講し高齢者虐待防止法に関する理解や遵守に向けた取り組みに期待したい。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には、利用者、家族等に詳細な説明を行い不安を取り除いてる。また、解約時も医療連携を行い、同意を得て解約している。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>月1回は家族に電話や書面で報告している。状態が変化した場合は速やかに報告している。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時や家族の来訪時に意見や要望を確認している。また、意見箱も設置している。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>離職者が多く、管理者の交代も少なくない。利用者への影響を最小限に抑えるように、働きかけはしている。</p>		<p>交代時の引継ぎを十分に行い、新任職員にはスムーズに移行できるような配慮に期待したい。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は外部研修を受講しているが、他職員の研修参加がされていない。 また、年間の研修計画が立案されておらず、具体的な研修予定が把握できない。		管理者だけでなく、職員全員が研修を受講し、年間を通じて研修に参加できる体制を構築されることを期待したい。
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地区のグループホーム協会に加入しており、職員も参加し、同業者との交流が図られている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者の生活歴等の情報を得て、一人ひとりに応じた支援をし、早く事業所に馴染めるように配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	畑仕事を一緒に行い、作業を教えてもらったり、利用者の話を聞きながら喜怒哀楽を共にしている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1. 一人ひとりの把握</p>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の会話の中から、一人ひとりの思いや意向の把握に努めている。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>アセスメントは十分に実施されており、詳細に記録されているが、ニーズ、課題抽出において簡略化した内容となっている。</p>		<p>利用者本意の視点からはまだ不十分な状態であるため、気づきや意見を出し合い、より良く暮らす支援として何が必要かを考慮されたケアプランを作成されることに期待したい。</p>
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月ごとの見直しを実施している。また、状態が変化した場合は随時見直しをしている。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>外出、通院の支援が柔軟に行われている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からのかかりつけ医への通院支援が行われている。また、家族の要望に応じて柔軟な通院支援が行われている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	状態の変化に伴い、段階的に合意を行い、話し合いながら対応をしている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	声がけにも工夫をし、さりげない言葉掛けや対応に配慮している。また、個人情報の取り扱いについても同意を得ている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事の後片付けやラジオ体操を行うなど、本人の希望やペースを尊重し、その人らしい生活が送れるよう考慮されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事の準備は利用者と職員が一緒に行っている。一人ひとりの好みにも配慮し、楽しく食事ができるよう声掛けしている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>冬季は週2回、夏季は週3回入浴支援を行っている。その他希望時にも入浴支援をしていく方針で検討している。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>発声訓練や歌を歌ったり、ゲームをしたり、楽しく一日が過ごせるよう支援している。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>夏季は農作業を職員と一緒に行ったり、外出希望の利用者には通院支援時にドライブしたり、事業所ができる範囲で工夫し支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>学習しながら制度の理解が図られており、拘束しないケアが実践されている。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>行動の見守りを行い、センサー装置の設置を増やし、鍵をかけないケアを実施している。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>定期的に避難訓練を実施し、自動火災報知機を設置し安全対策に配慮している。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>毎月体重測定が行われ、職員全員が意識しながら関わっている。また、水分摂取状況も観察し脱水予防に努めている。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>マニュアルが作成されており、職員間で周知されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>リビングルームには、大きなテレビが設置されており、利用者が楽しめる空間がある。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>各居室には、使い慣れたなじみの家具等が配置され、本人が居心地よく生活できるよう配慮されている。</p>		

 は、重点項目。